

生活協同組合あいコープみやぎ 機関紙

あいあいあい

2011年7月11日号

生活協同組合
あいコープみやぎ
coop

〈発行〉生活協同組合あいコープみやぎ理事会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町3丁目4番17号
TEL.022-284-7241 FAX.022-284-6973
http://www.mamma.coop

生産者支援金のおお願い

沿岸部を中心に、多くの生産者が被災し、苦境に立たされています。『食の自給と安全』は生産者の存在なくしてはあり得ません。生産者へのお見舞い支援のための、ご協力を
お願いたします。

生産者支援金の申し込み番号 000701 / 1口200円
ポイント支援金: 222223 / 1口500円
(注文番号欄に申し込み番号、個数欄に口数を記入して下さい。)
インターネット注文も同じです。

放射能自主測定データをHPで公開中

あいコープがお届けしている農産物などの残留放射能測定データをホームページ上で公開しています。あいコープの「みやぎホームページ」
<http://www.mamma.coop>をご覧ください。自主測定データは
今後も随時更新していきますので、チェックをお願いします。

2011年7月7日(木)、あいコープみやぎ再生のスタートです。 生協あいコープみやぎ理事長 吉武洋子

2011年7月7日(木)、あいコープみやぎ第23回総代会が、ハネレ仙台で開催されました。3月11日から早4月、生活協同組合あいコープみやぎ再生のスタートです。3月11日の大地震と大津波、福島原発事故は、私たちの日常生活を根底から覆しました。多くの方が亡くなり、また行方不明になっています。そして大震災の福島原発事故で、故郷を追われた人が10万人を超え、これからも増え続けていきます。私たちが生きていく上で、必要不可欠な、空気・水・土壌の全てが汚染され、命の源、海の汚染はより深刻です。そして人々の関係性、生きる基盤である地域社会が分断され崩壊寸前です。自分の頭で考え、長いもの権力を持つものに巻かれてきた結果、これほどの大災害に直面しながら、それでもまた、「原発を止めると電力不足」「より安全な原発」などと自ら進んで騙される人の方が多い。そんな現状だからこそ、生活協同組合の力が必要であり、その存在意義がはっきりします。

言うまでもなく、あいコープの「あい」は自分の目、あいコープの「あい」は人への愛、そしてあいコープの「あい」は自分自身。あいコープみやぎは、自分自身を大切に、人への愛を忘れずに、自分の目で見て判断し行動していく生活協同組合です。食の自給と安全・自然環境保全・地域福祉推進を掲げ、あいコープみやぎは、生活協同組合とは組合員・生産者・職員が協同し、その力で社会をより良く変えていく運動体であると主張し実践してきました。多くの組合員や生産者が被災し、大切な自然環境が汚染された重大な危機に直面した今こそ、運動体としての真価を発揮して行きましょ。

2011年度、あいコープみやぎは、生産者と協同し、津波の被害農地は除塩を、放射能汚染された土壌は除染を進め、あらゆる方法で安全安心な食物生産を追求します。また「あいごはん」を中心にしたバランスの良い計画的な食生活も紹介していきます。そして石けんを使いBM技術を活用し、身の周りにヒマワリや菜の花を植え、楽しみながら自然環境を守ることも進めます。さらにまた、地域社会で「困った時はお互い様」の助け合いを積極的に広げ、人と人との関係性を深めていきます。

その上で、あいコープみやぎは3月11日以前に戻らない戻さないための運動を進めます。危険と隣り合わせ、事故が起きれば人が暮らせなくなる原子力発電所は不要です。大金を使っての安全神話、驕りと怠慢による安全装置の未着、メルトスルーという重大事故情報の隠ぺい、原発建設費のみならず補償金をも電気料金に乗せ、もう十二分、もう沢山です。子どもたちの未来のために、嘘と利権まみれの原発を止め、火力・水力・地熱・風力・太陽光と、それぞれを組み合わせ、地域事情に合った発電方法を考え、エネルギーを含めた地産地消を進めていきましょう。

2011年7月7日、生活協同組合あいコープみやぎ 再生のスタートです。

あいコープカレンダー

8/3 (水) 宮崎真司講演
「原発をやめる社会へ」

会場: Eビルパーク仙台センターホール
時間: 10:00 ~ 12:00

8/6 (土) ~ 7 (日)

2011 キッズスクール
Summer camp IN 天童

会場: 天童高原キャンプ場
定員: 募集参加者 70名

「親子キャンプ」です!
※詳細は募集チラシをご覧ください。

9/5 (木) 勝川俊雄講演
「海の放射能汚染を考える」

会場: 仙台弁護士会館
時間: 10:00 ~ 12:00

10/30 (日)

Wa!わお祭り

卸商センターフェスタ

2011年度議案書説明会 報告

「あいコープ3年歩いて到達しよう」

～この災害を乗り越え、生産者と共にあいコープをどのような生協にしていけるのか。私達組合員ひとりひとりが考えていきましょう～

7月7日に行われた総代会に向けて石巻から岩沼まで5箇所で開催説明会を行いました。総代のほかにも一般の組合員の参加もありました。各会場で理事から議案書の説明の後、活発な質疑応答が行われました。(具体的な質疑応答は下をご覧ください。)

各会場で多くの質問や意見が出されたのは、やはり東京電力福島第一原発事故に関する放射能の影響についてです。あいコープの商品の放射線測定についての質問・意見が各会場で出され、組合員の不安と関心の深さを表していました。また、原発事故や放射線のことばかりではなく被災地の事を忘れずにできることをやっていきたいという意見も聞かれました。

他にも被災した生産者への支援や被災地の環境問題など、今回の震災を受けた質問や意見も多くありました。改めて、今回の震災が組合員に及ぼした影響の大きさが伺えました。これからあいコープはこの災害を乗り越え、安心して暮らせる地域社会を取り戻す活動を進めていきます。多くの組合員の知恵と行動をお願いします。 理事 斎藤郁子

〈主な質疑応答〉

- Q. あいコープの商品の放射線測定と公開はどうなりますか？
 A. 汚染マップ等に基づいて優先順位をつけ、宮城、福島、茨城、山形等の農産物、畜産物、水産物等から測定を始めています。今後、土壌の測定も行っています。測定結果はすべてホームページで公開します(すでに一部公開中)。携帯電話用のサイトも準備中です。
- Q. ながめやま牧場の放牧牛乳はどうなりますか？あいコープの牛乳は安全ですか？
 A. 放牧牛乳は大震災と原発事故の影響で先送りとなっています。放牧牛乳はやる予定ですが、時期は未定です。現在の牛乳はミルクファーム蔵王が定期的に自主検査をしていて、原乳の放射線は不検出です。
- Q. 沿岸部の下水処理場が大きな被害を受けています。あいコープはどのような活動をしていきますか？
 A. 被災地に石けんを贈る活動をしています。また、石けん環境委員会では化学物質を使わない防虫剤の普及を考えています。
- Q. 単品利用結集はどのように行っていますか？
 A. 震災後の160品目の利用結集は素晴らしいものでした。それを受けて別チラシを減らし、売上重視ではなく組合員にとっての必需品に利用結集していきます。
- Q. 地産地消は変わらないのか？
 A. あいコープの地産地消の方針は変わりません。

生産者つうしん

大震災後、宮城県の沿岸部を中心に、水産業者や農業生産者の皆さんは甚大な被害を受け、ご多難をこらされておられます。これからの復旧復興に向けて、皆の力を合わせて頑張りたいと思時。

毎日製品の放射線簡易測定もしています！ タンポポ村

福島県南相馬市にあるタンポポ村の牛渡社長は、工場内や周辺、使用水の放射線量を確かめることで工場の再開を決断しました。工場内での環境放射線量は、だいたい毎時0.2～0.3マイクロシーベルト程度のレベルです。原発事故直後には早くHORIBA社の環境放射線モニタを発注し放射能の自主測定の準備を進めました。製品の簡易測定は毎日行なっています。測定は包装工程の後と出荷前の二回行なわれています。まず環境放射線を測り、続けて製品から1cmの所にモニタを近づけて5回測り平均値を出します。環境平均値より製品の平均値が0.025マイクロシーベルト以上超過した場合に、出荷自粛と検査機関での詳しい検査をおこなう事になっています。タンポポ村の皆さんは、福島で安心して食べてもらえる食品づくりに懸命に取り組んでいます。

牛渡美知夫社長から組合員の皆さんへ

「この度の震災と原発事故は、日本の国民に深い傷跡を残しました。そしてその影に隠れて知らない内に世界的な食料の高騰が起っていました。恒常的だろうといわれています。原発に頼らないエネルギーと安全で自給可能な食料確保の両立が急務です。」



牛渡美知夫さん

あいコープのポークウインター 2P (税込) 399円(税込418円)

たいせつなこと

「ハエが大量発生している！」と石巻地区委員から連絡を受けました。ne.jp 物質でハエ取り剤が配られるが、「化学物質にこれ以上頼りたくない！」と悲痛の声…。同じ頃、同じ被災地気仙沼でも大量のハエの発生に困っていました。しかし主婦の知恵で考案した「ハエ取りペットボトル」が、おどろくほどの量のハエを馬区除できると言判りになっている情報を得ました。なんと使うのは調味量のみです。

これを石巻地区委員会で石けん環境委員で報告したところ、「ぜひもっと広げたい！」と喜んでくれました！7月15日の定例会にて、「ハエ取りペットボトル」をつくりまわす。そして石巻の町に広げようと思っています。

(石けん環境委員会 担当理事 高崎かおり)

石けん唐 100g
酒 70cc
酢 50cc

少量入れる

ハエがここから入ります。入り口にはガムテープをはると、まんがいらん飛出しそうになったハエがガムテープがキレます！

ミニートして何層もつかえる。あいコープの名刺？被災地の広がり！あいコープの輪！

1日でもペットボトル半分のハエが馬区除できます！！

生活協同組合 あいコープみやぎ
0120-255-044
http://www.mamina.coop

2011 今年もやります！！
Wa! わあ祭り
 「あいコープ、出会えて繋がりが大きな輪に！
 ～みんなの力で一歩ずつ～」(仮)
 2011.10.30(日) 新町センター